

2003 年度 委員会活動成果報告

(2004 年 3 月 1 日作成)

委員会名	安全計画小委員会	主 査 名：志田弘二
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画委員会	委員長名：服部岑生
設 置 期 間	2000 年 4 月 ~ 2004 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 目的：安全計画の考え方と計画手法を提案することで、合理的で効果的な建築の安全性を実現することを目的とする。 ・ 2003 年度活動計画：「避難安全のバリアフリー計画」の作成に向けての調査研究を実施する。 	
委員構成 (委員名(所属))	志田弘二(名古屋市立大学)・林 広明(大成建設)・水落秀木(清水建設技)・上原茂男(竹中工務店)・掛川秀史(清水建設技)・久保田勝明(独立行政法人消防研究所)・佐野友紀(早稲田大学)・塩原達郎(梓設計)・建部謙治(愛知工業大学)・土屋伸一(明野設備研究所)・富松大基(日本設計)・福井 潔(日建設計)・吉川容子(財団法人日本建築センター)・宮崎恵子(独立行政法人海上技術安全研究所)・吉村英祐(大阪大学)以上 15 名	
設置 WG (WG 名：目的)	名称：防災計画指針WG 目的：総合的な視点に立った防災計画の設計指針あるいはガイドラインの原案作成を目的とする。	
2003 年度予算	126,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	開催回数：計 7 回 開催日(参加人数)：5 月 9 日(13 人), 7 月 2 日(8 人), 8 月 29 日(15 人), 9 月 30 日(9 人), 10 月 28 日(13 人), 11 月 26 日(9 人), 2 月 4 日(9 人)
得られた成果	(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無) 2003 年度 <ul style="list-style-type: none"> ・ 避難安全のバリアフリー計画に関して調査研究し、「第 18 回安全計画シンポジウム：避難安全のバリアフリー計画」を開催した(2003 年 10 月 28 日) 参加人数：95 名(うち会員外 30 名) ・ 避難安全のバリアフリー計画手法に関しては、学術的・設計技術的に未完成の部分が多く、また建築・消防防災の関連法規定での行政的な対応も不十分である。本小委員会での成果は、計画手法を総合的にとりまとめた内容であり、設計者等・施設運営者・行政担当者にとって利用価値の高いものとなる予定である。 ・ シンポジウムの開催案内および講演記録等をホームページに掲載した。 http://news-sv.ajj.or.jp/keikakusub/s6/index.html また、建築雑誌(2004 年 1 月号)「活動レポート」に記録を掲載した。
目標の達成度	(当初の活動計画と得られた成果との関係) 避難安全のバリアフリー計画に関して、今年度中に内容の完成を目指したが、完成度は 80% 程度であり、来年度も継続することで小委員会設置申請を済ませた。
その他評価すべき事項	特になし